

街づくり協定の区域内における行為の届出書

正本 1部届出

令和3年7月1日

(宛先) 所沢市長

届出者は「行為者」であって、「土地所有者」や「権利者」ではない

市が届出書を受理した日から30日を経過した後でなければ、工事着手できない (例) 1か月が30日の場合

Calendar table showing dates from 1st to 30th, with 1st as the start date and 30th as the deadline.

届出者 住所 所沢市並木一丁目〇番地の〇
氏名 株式会社〇〇〇〇
代表取締役 所沢 太郎
電話番号 04-2998-〇〇〇〇

[法人にあつては、その名称、代表者氏名、所在地を記入してください。]

訂正は二重線で消して、行為者又は委任された者の印を押印すること (修正液、砂消しは使わない)

所沢市街づくり条例第15条第3項の規定に基づき、土地の整備、開発又は保全に係る行為について、下記により届け出ます。

委任状がある場合、届出者の住所、氏名、行為の場所について委任状の表記と一致させる

- 1 行為の場所
2 行為の着手予定日
3 行為の完了予定日
4 設計又は施行方法

記 所沢市大字下富字柳野〇〇〇〇番、同番〇〇〇〇番

令和3年8月1日
令和3年12月1日

対象地番を全て記載 (例) 所沢市宮本町〇丁目〇番〇号、同番△号 所沢市並木〇-〇-〇、-△

Main application form table with sections for land change, building construction details (area, height, purpose), and other changes.

建築基準法上の面積を記入
敷地内の該当する全ての建築物の延べ床面積(駐輪場や塵芥所含む/建ぺい率、容積率の緩和措置は考慮しない)

浸透枮の場所も図面に記載

色彩未決定の場合、決定後に届け出る様式第3号に添付する

注 届出事項を証する書類を添付すること。

- 委任状 □案内図 □配置図 □浸透枮 地盤面高記載 □敷地面積求積図 □敷地面積求積表
□平面図 □立面図 □断面図 □垣又はさくの図 □景観形成基準(色彩適合表、配慮事項)

※立面図説明・外壁等に使用する色彩のマンセル値を表示し、外壁の各立面の見付面積に対する基調色等の使用面積の割合を記入すること。

・彩色が施された部分を着色し、着色していない部分はその素材を記すこと。

# 委任状

私は都合により 景観 太郎 を代理人

と定め、下記の建築物等について所沢市街づくり条例第15条第3項の規定による届出の手續を委任する。

- 行為の場所 所沢市大字下富字柳野〇〇〇〇番、同番〇〇〇〇番
- 建築物等の主要用途 専用住宅
- 届出の要旨 新築

対象地番を全て記載  
(例) 所沢市宮本町〇丁目〇番〇号、同番△号  
所沢市並木〇-〇-〇、-△

令和3年6月30日

届出者

委任状の訂正は、申請人（委任者）のみ  
訂正には申請人（委任者）の押印が必要

住所 所沢市並木一丁目〇番地の〇

氏名 株式会社〇〇〇〇 代表取締役 所沢 太郎

印

建築物ごとに記入する

様式第 1 号

景観形成基準（色彩適合表）

(〇〇〇)

第一立面	区分					割合 単位 (%)	
	彩色が施されている部分	色 (マンセル値) 彩	色相	明度	彩度		
第一立面			彩色が施されている部分	色 (マンセル値) 彩	基調色	5YR	8
	補助色	2.5Y			8.5	2	
	強調色	5YR			3	3	
	屋根	N			3.0		15
第一立面 方角 (西)	点減光源		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		—	
	屋外広告物		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		—	
	彩色が施されていない部分	素材名	ガラス、アルミサッシ			10	
	計					100	
第二立面	彩色が施されている部分	色 (マンセル値) 彩	基調色	5YR	8	3	60
			補助色	5YR	3	3	
			強調色	5YR	2	1	
			屋根	N	3.0		5
第二立面 方角 (南)	点減光源		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		—	
	屋外広告物		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		—	
	彩色が施されていない部分	素材名	ガラス、アルミサッシ			20	
	計					100	
第三立面	彩色が施されている部分	色 (マンセル値) 彩	基調色	5YR	8	3	75
			補助色	5YR	3	3	
			強調色				
			屋根	N	3.0		
第三立面 方角 (東)	点減光源		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		—	
	屋外広告物		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		—	
	彩色が施されていない部分	素材名	ガラス、アルミサッシ			10	
	計					100	
第四立面	彩色が施されている部分	色 (マンセル値) 彩	基調色	5YR	8	3	75
			補助色	5YR	3	3	
			強調色				
			屋根	N	3.0		
第四立面 方角 (北)	点減光源		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		—	
	屋外広告物		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		—	
	彩色が施されていない部分	素材名	ガラス、アルミサッシ			10	
	計					100	

付帯する建築物の名称を記入する  
(例) 駐輪場

まとめて割合を記入する

Nは彩度なし

着色していない素材を記入  
(着色していないコンクリート打ちっばなし等含む)

補助色は強調色を含めて、見付面積の20%まで

強調色は見付面積の5%まで

色彩の面積割合は、屋根の部分を除いた外壁の見付面積を100%として、色彩区分ごとに割合を記載する

屋外広告物も合計に入れる

屋外広告物がある場合、色彩等の指導は建築指導課が担当するが、面積の割合は記入する

屋根が見える場合は彩色する屋根のマンセル値等を記載する。彩色済みの屋根材も対象  
(例) 商品名：ガルバリウム鋼板、コロニアルカラーベスト等

駐輪場等2面しか図面がない場合でも、第1~4立面の各面を記載

片流れ屋根や庇は、立面図では壁面のように表示されるが、届出書では屋根として扱うため、色彩のマンセル値は記載するが、面積の割合は記入しない

備考 1 該当する□内に、印を付すこと  
2 彩色が施されていない部分の石、土、木、レンガ及びコンクリート外壁以外のガラス、サッシ、

色彩の審査の対象となる建材等（注意を要するものの例）  
 ■着色されている建材（ガルバリウム鋼板、トタン、コロニアルカラーベスト等）  
 ■倉庫などのシャッター  
 ■駐輪場やゴミ置場（メーカー公表のマンセル値可）  
 色彩の審査の対象とならない建材等  
 ■外壁等：着色していない石、土、木、レンガ、コンクリート等の素材  
 ：ピロティ（駐車場等）で外壁がないもの  
 ■屋根：彩色していない陸屋根、金属材又は素焼瓦等の素材で仕上っているもの

区分「外観の変更」で変更しない面は記入不要

様式第2号は、用途によって（その1）～（その3）を使い分ける

- ・商業系  
所沢駅、西所沢駅、新所沢駅、小手指駅、狭山ヶ丘駅、東所沢駅周辺の商業・近隣商業地域
- ・農地・丘陵地  
用途無指定（並木六丁目の無指定地は住居系）
- ・住居系 上記以外

とことこ景観資源が不明の場合、斜線

「照合」欄は無記入で届出

様式第2号（その3）

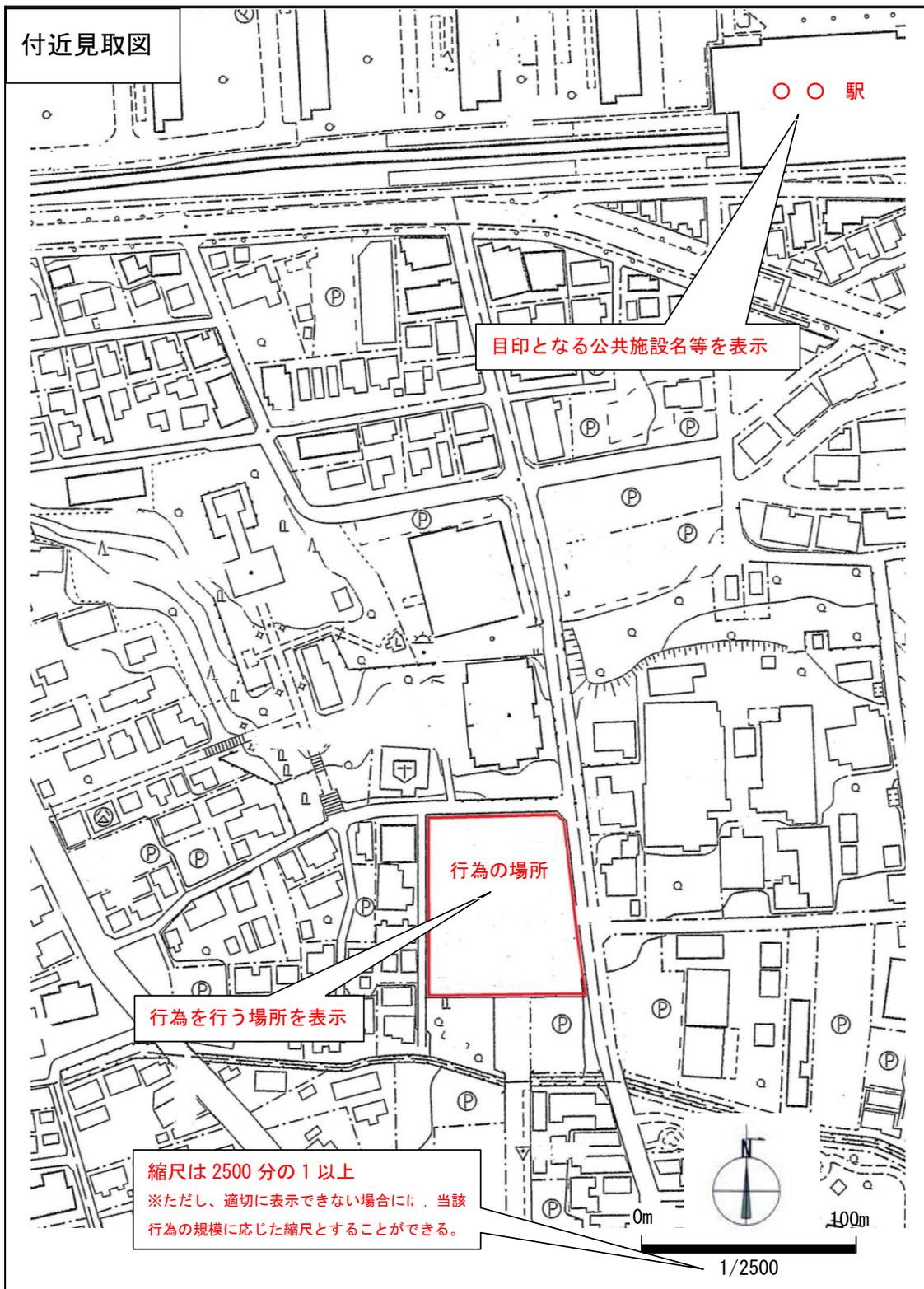
景観形成基準（配慮事項）  
建築物の配慮事項（農地・丘陵地景観ゾーン）

配慮事項		配慮した具体的内容	照合
配 置	とことこ景観資源と調和させる。	1 景観資源に面して緑地を設けている。 2 景観資源に面してゆとりを設けている。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
	現状の地形を活かした土地利用に努め、造成による地形の変更は最小限にとどめる。	① 現状の地形を活かしている。 2 造成は最小限にとどめている。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
	既存の樹木は、できるだけ残すような建築物の配置とする。	1 既存の樹木を残している。 ② 既存の樹木と同じ樹種を植えている。 ③ その他（緑化計画の届出有）	<input type="checkbox"/>
外壁・屋根等	外壁は、分節化するなどし、圧迫感を抑え、単調にならないようにする。	① 形態・デザインで分節化している。 ② 圧迫感を軽減させる配慮をしている。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
	外壁・屋根等の素材等は、周辺のみどりと調和させる。	1 素材に配慮している。 ② デザイン・色彩に配慮している。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
	屋根又は軒の高さは、周辺の街並みやみどりととの連続性をつくる。	1 高さを統一している。 ② 周辺の高さに配慮している。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
屋外設備等	建築物との一体化やルーバー等の設置等、周囲からの見え方を工夫する。	① 見えない位置に配置している。 2 目隠しを設置している。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
外構・植栽	道路や河川等に面する部分は植栽を設ける。	1 道路等に面する部分に植栽を設けている。 ② スペースや庭を設けている。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
	流通・工業系建築物の敷地の外周部は、中高木の植栽等により、緩衝緑地を設ける。	1 中高木を植栽している。 2 生垣を設けている。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
屋外広告物	屋外広告物は、大きさや形をそろえ、設置位置を集約する。	1 形態等の統一を図っている。 2 集約化を図っている。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
照明	外壁・屋根等に付属する照明は、周辺に影響しないよう工夫し、点滅する光源は使用しないものとする。	① 点滅光源は使用していない。 2 周辺への影響に配慮している。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
色彩	みどり等の景観資源が美しく映えるよう、穏やかな安らぎの感じられる色彩とする。	① 暖色系を基調としている。 ② みどりととの調和に配慮している。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
	外壁の色彩は、基調色と補助色の配色のバランスを整える。	① 配色のバランスに配慮している。 ② 補助色の使用面積に配慮している。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
	主要な部分は、極端な高強度及び低強度の色彩の使用を避け、周囲のみどりに調和させる。	① 基調色は周辺を考慮している。 ② 落ち着いた色彩としている。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
土地利用に関する事項	商業系建築物、流通・工業系建築物の基調色は、彩度（鮮やかさ）を抑える。	1 彩度に留意している。 2 周辺から目立たないように配慮している。 3 その他（ ）	<input type="checkbox"/>
	良好な住環境確保に必要なものの保全を図るための配慮	① 敷地の庭等は樹木又は張芝等を行うなど緑化に努めること。また、敷地内で道路側の樹木等が通行に支障をきたさないよう適時管理すること。 ② 路上駐車をしないよう努めること。 3 空家及び空地の管理に充分配慮すること。	<input type="checkbox"/>

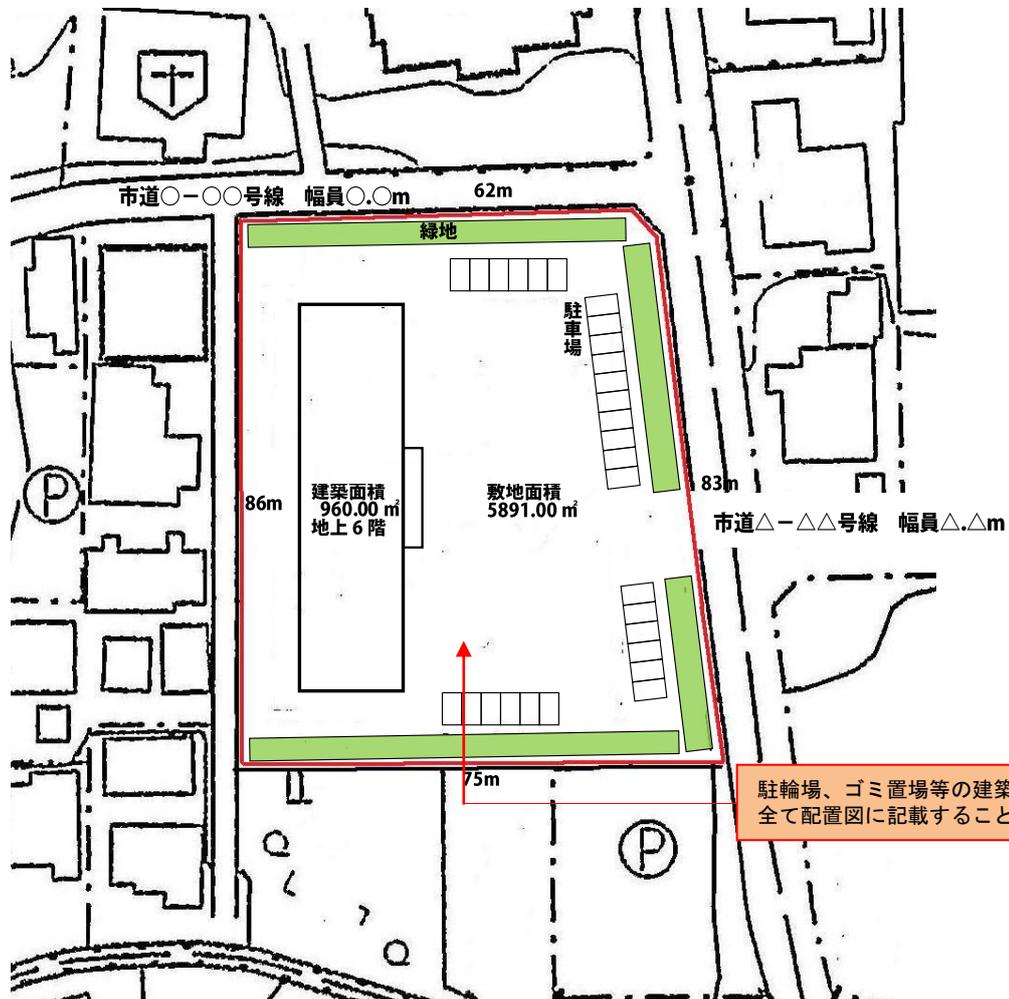
どのように緑化するかを記載

土地利用に関する事項が定められている区域（所沢ネオポリス街づくり協定等）では該当する番号に○をする

付近見取図

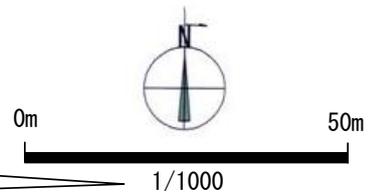


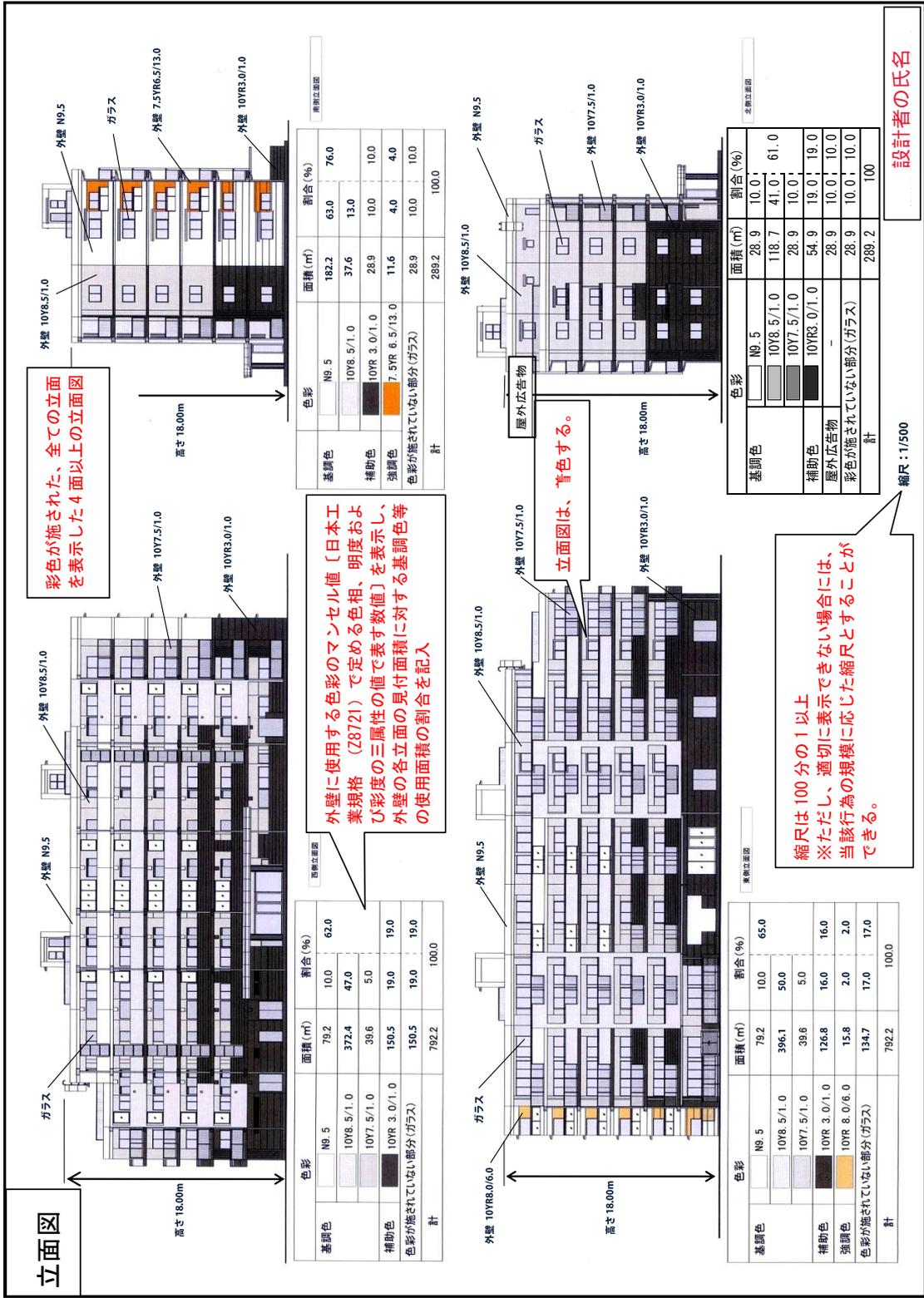
配置図



駐輪場、ゴミ置場等の建築物がある場合は、  
全て配置図に記載すること

縮尺は 100 分の 1 以上  
※ただし、適切に表示できない場合に、当該  
行為の規模に応じた縮尺とすることができる。



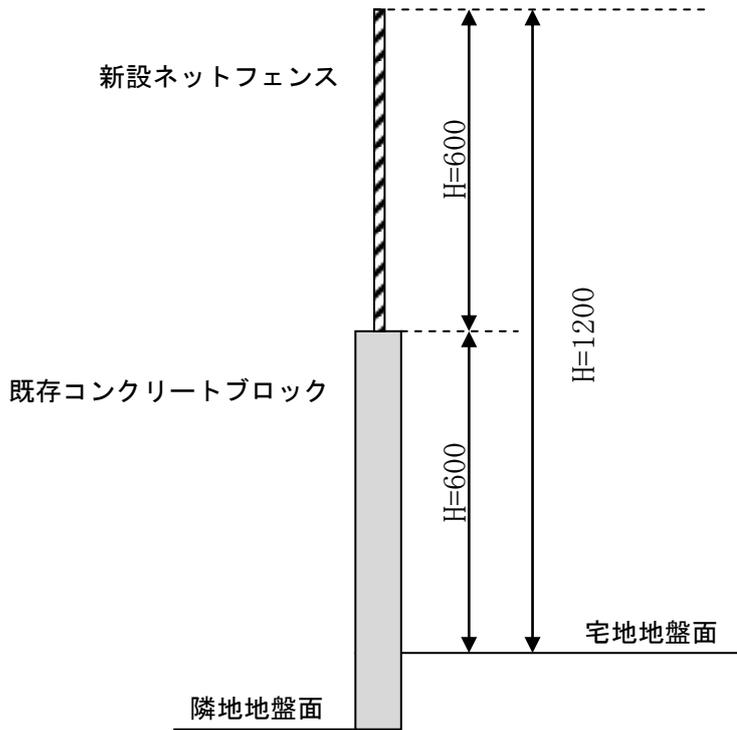


(様式第1号の記入例とは色彩が異なる)

色彩未決定の場合、色がない通常の立面図を添付し、色彩の決定後に届け出る様式第3号に、色がある立面図を添付する

駐輪場、ゴミ置場等の建築物がある場合は、それぞれの建築物における、色彩ごとのマンセル値、面積、割合が入った表及び着色した立面を添付すること (マンセル値はメーカーのカタログ値で良い)

垣・さく立面図



高さの基準は、それぞれの地区の「街づくり整備計画」に記載している  
所沢ネオポリス街づくり協定では、宅地地盤面からとなる

〇〇隣地境界 S=1/30